

仕事以外でも仲間と楽しもう!

趣味の会紹介

来たれ二水会へ!

早稲本 和徳 (48期) Kazunori Wasemoto



2012年に『NIBEN Frontier』に二水会の紹介記事を書いてから早くも9年が過ぎ、こうしてまた二水会の紹介記事を書かさせていただくことになりました。この間に、「二水会って何?」とおっしゃる二水会員も増えたのではないかと思いますので、簡単に説明させていただくと、二水会とは「二水水曜会」の略称であり、二水のゴルフフリークの集まりです。現在、私は世話人(二水会では幹事のことを「世話人」と呼びます)を務めさせていただいています。

二水会は、昭和36年に誕生して以来、偶数月の第二水曜日にコンペを開催しており、2020年には400回記念大会を開催しました。このように二水会が途切れることなく長く続けてこられたのも、ひとえにゴルフ好きの諸先輩方のおかげであると思いますし、これからも二水会を存続させていくのが私たち

世話人の役目だと思っています。

ただ、二水会は、「As it lies あるがままに打つ」という精神から、ノータッチ・完全ホールアウトという昨今のエンジョイゴルフとは逆行するルールをかたくなに守り続けているため、「二水会ってみんなゴルフが上手いんでしょ?」と誤解され、入会希望者にとっては精神的なハードルが高いのかもしれない。

確かに、二水会にはゴルフが上手な人もいますよ。がしかし、それはあくまでも一握りであって、「かつては上手かったかもしれないが現在はただのゴルフ好きの人」が殆どですので気後れする必要は全くありません。

もちろん、この間に50期以降の会員や女性会員も増えており、また、世話人の交代等で若干の若返りを図っていますが、二水会が抱える一番の問題は、会員の高齢化のスピードが若返りのスピードを上回っていることです。高齢化してるといふと、「うるさい人が多いんでしょ?」と思われるかもしれませんが、面白いことを言う人はいても、うるさいことを言う人はいませんからご安心く

ださい。むしろ、二水会の日は、みんな朝から遠足の日の子供みたいに明るく元気で、仕事の話や面倒くさい話をする人は誰もいません。プレー中は真剣ながら和気藹々としてますし、プレー後は成績発表を兼ねたパーティで盛り上がり(現在はコロナ禍で自粛開催中です)、一日中楽しめます。

むしろ、ぼろっと「二水会に入会した」と周囲に漏らせば、「●●先生ってゴルフ上手いんだ」と誤解してもらえるというメリットすらあるかもしれません。ですから、二水会への入会を躊躇する理由は一つもないのです。

そうなんです。私が、再び二水会の紹介記事の執筆を引き受けたのは、これからの二水会を担っていただける世代の皆様を勧誘しなければならぬからなのです。

二水各派で開催されているゴルフコンペに参加されている皆様はもとより、トーナメント開催コースや有名コースで楽しくゴルフをしたいとお考えの方は、是非とも二水会にご入会ください。周りに二水会の会員が見つからなかったら遠慮なく仰ってください。私と代表世話人の伊東卓弁護士が推薦人にならせていただきます。

来たれ二水会へ!



400回記念大会の懇親会にて